

高札場

高札場は、江戸時代（1603 年–1868 年）交差点や港、橋の近く等场所など、都市や町の人々の往来が多い場所に掲示された公式な通知のことです。旅行者は、都市や町に入る時に、これらの掲示板を確認していました。掲示板は、住民や訪問者が従わなければならない布告を含む地元の規則や制限を掲げていました。2009 年に、江戸時代の高札場の忠実なレプリカが下呂温泉街の、高札が掲げられていた場所に立てられ、文章を手書きする掲示板が備え付けられました。レプリカは、現在の富山県と岐阜県を繋ぐ旧飛騨街道の宿場町としての下呂の過去を、訪れる人々に思い起こさせます。下呂の高札場は温泉博物館やかえる神社に近い便利な場所に位置しています。